

3月28日(日) 勇気を失わない理由

1 内側から新しくなる

(2コリント4:16) ですから、私たちは勇気を失いません。たとい私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。

(1テサロニケ5:23) 平和の神ご自身が、あなたがたを全く聖なるものとしてくださいますように。主イエス・キリストの来臨のとき、責められるところのないように、あなたがたの霊、たましい、からだは完全に守られますように。あなたがたを召された方は真実ですから、きっとそのことをしてください。

(エペソ3:14~16) こういうわけで、私はひざをかがめて、天上と地上で家族と呼ばれるすべてのものの名の元である父の前に祈ります。どうか父が、その栄光の豊かさに従い、御霊により、力をもって、あなたがたの内なる人を強くしてくださいますように。

(イザヤ40:28~31) 主は永遠の神、地の果てまで創造された方。疲れることなく、たゆむことなく、その英知は測り知れない。疲れた者には力を与え、精力のない者には活気をつける。若者も疲れ、たゆみ、若い男もつまずき倒れる。しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように翼をかって上ることができる。

(箴言17:22) 心の楽しみは良い薬である、魂の憂いは骨を枯らす。

(詩篇103:1~5) わが魂よ、主をほめたたえよ。私の内にあるすべての

ものよ。聖なる御名をほめたたえよ。…あなたの若さは、鷲のように新しくなる。

2 永遠に価値あるものに目を留める

(2コリント4:17) 今の時の軽い患難は、私たちのうちに働いて、測り知れない、重い永遠の栄光をもたらすからです。

(2コリント4:18) 私たちは、見えるものではなく、見えないものにこそ目を留めます。見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くからです。

(へブル11:9~10) 信仰によって、彼は約束された地に他国人のようにして住み、同じ約束をとともに相続するイサクやヤコブとともに天幕生活をしました。彼は、堅い基礎の上に建てられた都を待ち望んでいたからです。その都を設計し建設されたのは神です。

(へブル11:24~28) 信仰によって、モーセは成人したとき、パロの娘の子と呼ばれることを拒み、はかない罪の楽しみを受けるよりは、むしろ神の民とともに苦しむことを選び取りました。キリストのゆえに受けるそしりを、エジプトの宝にまさる大きな富と思いました。報いとして与えられるものから目を離さなかったのです。

信仰によって、彼は王の怒りを恐れなくて、エジプトを立ち去りました。目に見えない方を見るように、忍び通したからです。信仰によって、初子を滅ぼす者が触れることのないように、過越と血の注ぎとを行ないました。信仰によって、彼らはかわいた陸地に行くのと同様に紅海を渡りました。